

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第24号 2023. 11. 17(金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

イチロー選手の卒業文集～「進路実現」に向けて頑張るみなさんへ！～

僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです。
そのためには、中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。
活躍できるようになるためには練習が必要です。
僕は3才の時から練習を始めています。
3才から7才までは半年くらいやっていましたが、3年生の時から今までは365日中、360日は激しい練習をやっています。
だから、1週間中で友達と遊べる時間は5～6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。
そして、中学、高校と活躍して、高校を卒業してからプロに入団するつもりです。
そして、その球団は、中日ドラゴンズか西武ライオンズです。ドラフト入団で、契約金は1億円以上が目標です。僕が自信のあるのは、投手か打撃です。
去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。
そして、ほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会NO1選手と確信でき、打撃では、県大会4試合のうち、ホームラン3本を打ちました。
そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。
そして、僕たちは、1年間負け知らずで野球ができました。
だから、この調子でこれからも頑張ります。
そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って、応援してもらうのも夢の一つです。
とにかく、一番大きな夢は、プロ野球の選手になることです。 【イチロー選手の卒業文集より】

「人間が変わる方法としてもっとも無意味なのは、決意を新たにすることで満足してしまうです。行動を具体的に变えない限り、その決意や思いだけでは何も変わりません。」以前研修の場において指導をいただいた言葉です。この言葉をもとに私が感じたポイントを三点整理しました。（私からの言葉だけではなく、それぞれが感じるポイントも大切にしたいと思います。）

- (1) 目標である「プロ野球選手になる」ための方法が明確です。「全国大会へ出て」という部分は、確かに全国大会に出場して全国にアピールしたり、多くの人の目にとまったりすることで、プロ野球選手になる可能性はぐっと高まることでしょう
- (2) 努力の裏付けがきちんと整理されています。どれくらい努力をすればよいのかを、自分なりに分析して、時間単位できちんと数字として示してあります。小学校6年時には、すでに時間的な懸念を持ち、積み重ねることの重要性を理解しているように思える文章です。
- (3) 「貢献」することの大切さ、「感謝の気持ち」をもつことの大切さが表現されています。人間的に「自立」していく意識がないと自分中心に物事を考えてしまいます。さらに、周りの方へ貢献する心をもっているところも、イチロー選手のその後の活躍につながっています。

※これから三週間にわたり、「卒業文集」の言葉をもとにした連載をしていきたいと思います。

三年生のみなさんの「今」の姿こそが、私たちの誇り(一中プライド)です！

三年生のみなさん、最上級生として先輩方から受け継いだ思いや伝統を守り、「challenge&respect」という生徒会テーマのもと、よくそこまで成長できました。この三年間のみなさんの成長に感動しました。昨日のみなさんの姿こそが、私たちの「一中プライド」です。「生徒指導通心」の裏面に、みなさんから後輩へ託されたメッセージを原文そのまま掲載します。一年生も、二年生も、本当に素直でやさしい心をもった立派な一中生です。みなさんからの「心のこもったメッセージ」を自分たちの『道標』として、新たなスタートをきることができることだと信じています。安心して、次のステップ（進路実現）に向けて頑張ってください。先生たちは、精一杯応援しています。

『文化祭にて託された、3年生から後輩へのメッセージです』

皆さんは、今年度の1年間を振り返ってみてどうでしたか？今振り返ってみると、みなさんと過ごした日常や行事などの思い出がよみがえってきます。

学年をこえて協力し合い、みんなで作りあげた体育大会。夏休みから体育大会までの限られた時間の中で不安も多くありました。しかし「これまでに一番の体育大会にしたい」という思いのもと、私たち3年生を中心として練習に取り組みました。

そして、迎えた体育大会本番。1、2年生は、持ち前の元気と明るさでこの体育大会を盛り上げてくれました。1年生の競技の中で心に残っているのは、みんなで声を掛け合い、息を合わせていた台風の目です。転びそうになりながらも、歯を食いしばり走っている姿に、とても感動しました。

声出しを解禁して行った演舞。空高く飛んだ跳び蹴り、自分の限界まで沿って舞う手、低く落とした腰、全校生徒の声。全てが合わさった演舞はどの団も迫力満点でした。

演舞の練習を始めたころは、まとまりもなく、うまくいかないことだらけでした。しかし、一つ一つの動きや声出しなどを団ごとに学年全員が頑張ったことで、本番、今までで一番良い演舞をすることができました。

他にも思いをつないだ団対抗リレーや声を枯らしながらの応援は学年を超えて、団を超えて、一中を一つにしてくれました。全校生徒が「優勝」という一つの目標に向かって全力で頑張っている姿はとてまかつよかったです。

みなさん一人一人が、暑くてきつい練習を、協力し合い頑張って乗り越えてきたからこそ、「勝翔笑」というテーマにあった素晴らしい体育大会をつくりあげることができたと思います。私たちの中学校生活最後の体育大会をみなさんとできてよかったです。本当にありがとうございました。

部活動で仲間と汗を流しながら、必死に頑張った日々。今までお手本にしていた先輩方も引退し、どうすればいいのか分からず、うまくいかないことがたくさんありました。でも、そんなときの「先輩自信もって」「いつでも相談乗るよ」といった仲間や先生、家族の言葉が私たちを助けてくれました。

そんなみんながいたからこそ、どんなときも頑張ることができました。練習がきつくて、気持ち沈んでいるとき、あなたが元気に声をかけてくれたおかげで、きつい練習も乗り越えることができました。そして、ドリンクを作ってくれたり、荷物を運んでくれたりなど、練習や試合のサポートもしてくれて本当に助かりました。

試合前で、緊張しているときの応援やミスした時の励ましの言葉のおかげで、自分の力を最大限に発揮することができました。また、怪我をして試合に出られない時には心配してくれて、自分の分も全力で頑張ってくれて嬉しかったです。

もっと練習しておけばよかったと後悔することもありました。それでも、同じ目標を掲げ、仲間と笑い合い、全力で練習した日々は、私たちの学校生活の中でかけがえのない思い出です。

これから共に進む仲間たちとの目標に向かって、全力で頑張ってください。一中生の活躍を期待しています。

1年生のみなさん、初めての中学校生活で戸惑うこともあったと思います。そんな中で私たちについてきてくれてありがとうございました。来年度は、後輩がで、先輩となります。不安を抱えている人も、いるかもしれませんが、みなさんなら大丈夫です。後輩を引っ張り、3年生を支え、この一中をいい方向に導いてください。

2年生のみなさん、1年生をひっぱり、私たち3年生を支えてくれてありがとうございました。次は、最上級生として、一人一人がリーダーです。来年度は2年生全員がリーダーとしての責任を持ち、体育大会や文化祭などの行事を作り上げていって下さい。また、2年生は来年度、今の私たちのように受験生となります。今、3年生の中には、勉強しておけばよかったと後悔している人がたくさんいます。だから、どうかみなさんは後悔しないように今のうちから頑張ってください。

私たちは、この3年間でたくさんの間違いを犯し、ぶつかり合い、学び、助け合い、共に壁を乗り越えてきました。辛くて前が見えない時もありました。そんなとき、ふと顔を上げて周りを見ると、私たちは一人ではない、たくさんの人たちに支えられているのだと気づきました。

そして、それはみなさんも同じです。これから、いろいろな経験をする中で、うまくいかず、苦しくなることもあるかもしれませんが、でもそういう時は、下を向くのではなく顔を上げて下さい。あなたのそばには、あなたを助けてくれる人がいます。

私たちを15年間育ててくれた家族へ。苦しいときに、私たちを一番近くで支えてくれたのは家族でした。何度も進路のことや色々な問題でケンカしました。何度もひどい言葉をぶつけて傷つけてきました。素直になれなくてごめんなさい。でも、見捨てずにずっとそばにいてくれてありがとう。

中学校3年間一緒にすごした先生方へ。日常生活の中で、先生方にはたくさん迷惑をかけました。私たちがなにか間違いを犯すたびに、私たちのことを思い、真剣に叱ってくださいました。悩んでいるときはすぐに気づき、声をかけてくれて相談に乗ってくれました。そんな先生方が大好きです。

そして、どんな日も毎朝、校門の前で明るく笑顔で挨拶してくださった校長先生へ。朝の挨拶が、私たちの1日の活力になりました。私たちに話してくださった「人の命、心が大事だ。」「生徒全員が安全で安心して過ごせる学校にしたい」という言葉は今でも心に残っています。校長先生の教員生活最後の1年間を共に過ごせたことは、私たちの誇りです。本当にありがとうございました。

1・2年生へ。「初めて」というのは誰もが経験し、挑戦するときには勇気がいります。しかし、その一歩を踏みだす勇気はきっと新しい未来を切り開く鍵となるでしょう。だからみなさんもこれから失敗を恐れず、全力で様々なことに挑戦していってください。

このクラスで過ごすのも残り約4か月となりました。中学校生活は長いようであつという間です。今のクラスでも最高の思い出を作って4か月後クラスの全員が「このクラスでよかった」と笑顔で終われるようにしていきましょう。

私たちは、先輩方から受け継いだ思いや伝統を守り、「challenge&respect」という生徒会テーマのもと一中が、もっとよりよくなるように色々な取り組みや行事を行ってきました。

しかし、それも文化祭が最後です。一中生一人一人が一中に誇りを持てるように、今よりもっとより良く、生徒全員が安心して暮らせる学校にしていって下さい。

みなさんにこの一中を託します